

# 2017年3月期（2Q） 決算補足説明資料

KYDDEN  
GROUP



2016年11月10日  
株式会社キョウデン

# 2017年3月期2Q 業績概要(連結)

(単位：百万円)

	2016年3月期 2Q	2017年3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	24,967	<b>26,410</b>	1,443	+5.8%
営業利益	884	<b>972</b>	88	+10.0%
経常利益	512	<b>513</b>	0	+0.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	351	<b>285</b>	△65	△18.7%

- 売上高・営業利益は 主に前期中に子会社化した3社の実績が加算となり増加  
前期M & A実施に関連した一過性の費用支出(約83百万円)の計上を含む  
海外事業は 現地通貨ベース増収増益も円高により 円貨換算では売上高減少
- 経常利益では 急速な円高に伴い 為替差損(約328百万円)が発生

# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

【売上高】	2016年3月期 2Q	2017年3月期 2Q	増減額	増減率
電子事業	20,359	21,245	886	+4.4%
工業材料事業	4,608	5,164	556	+12.1%
その他	—	—	—	—
合計	24,967	26,410	1,443	+5.8%

【営業利益】	2016年3月期 2Q	2017年3月期 2Q	増減額	増減率
電子事業	560	593	32	+5.8%
工業材料事業	354	379	25	+7.1%
その他	△31	—	31	—
合計	884	972	88	+10.0%

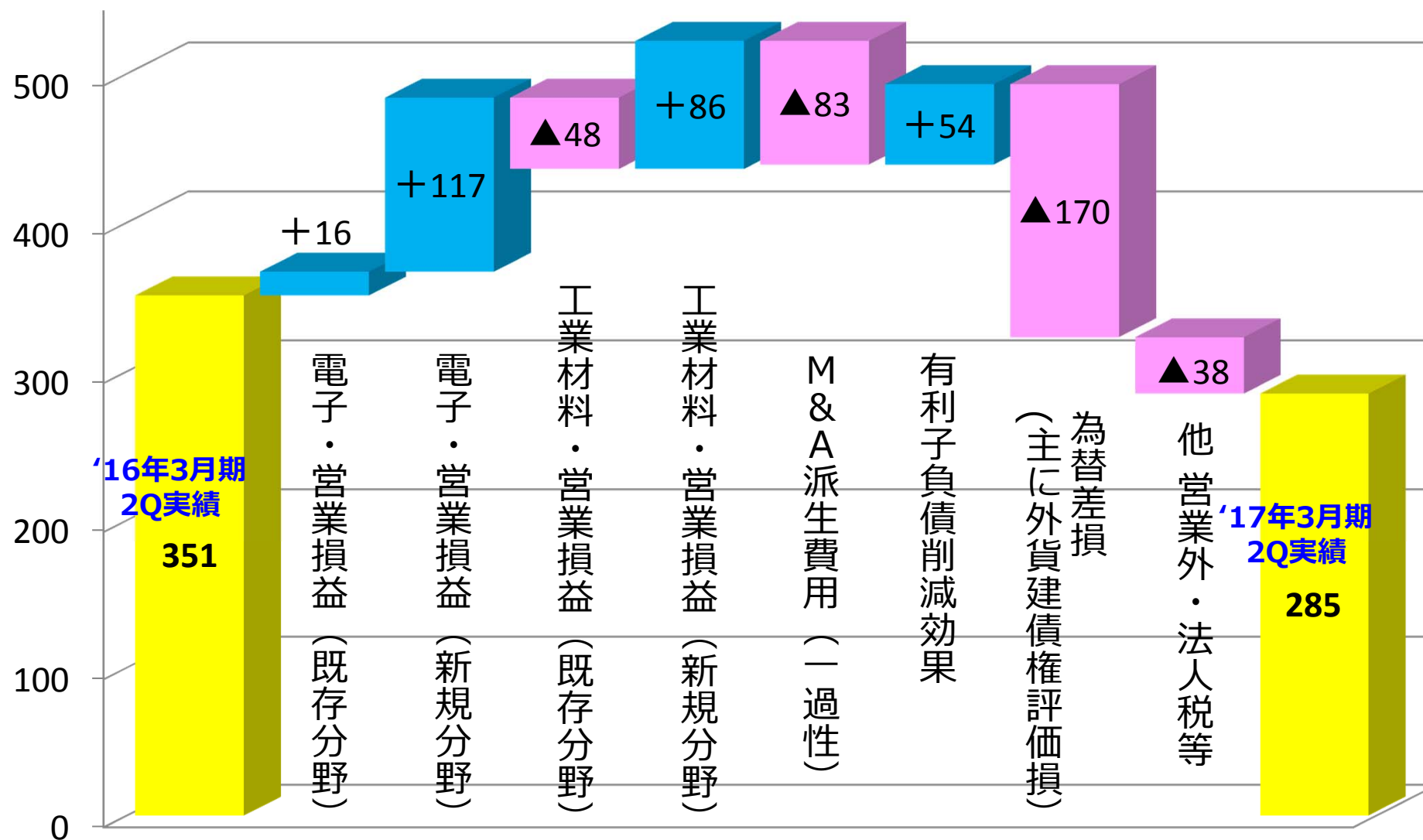
- 電子：売上増は主に海外増+KDプレシジョン子会社化による増加-為替影響
- 工業材料：売上増はジャンテック・ツルガスパンクリートの子会社化による増加

- ◆産機・車載・アミューズメント機器関連で受注堅調
- ◆国内生産自動化・合理化施策の継続
- ◆キョウデンプレシジョンのM&A（2015年7月）を皮切りに筐体の短納期対応及びOEM/OEMを受託する最終製品メーカーとしての社内体制構築とマーケティング活動の本格化
- ◆キョウデンプレシジョンと既存工場との連携及び相互の販路活用
- ◆従来のプリント基板以外の分野(回路設計・実装 他)の構成比増加
- ◆キョウデンタイランドの生産改善活動による社内生産実績の向上及び国内工場レベルに近づく品質の改善
- ◆国内子会社 3社（KD東北・KD横浜・KD大阪）を吸収合併（4月）  
⇒各本部機能の強化・人財の流動化・管理手法の一元化 など

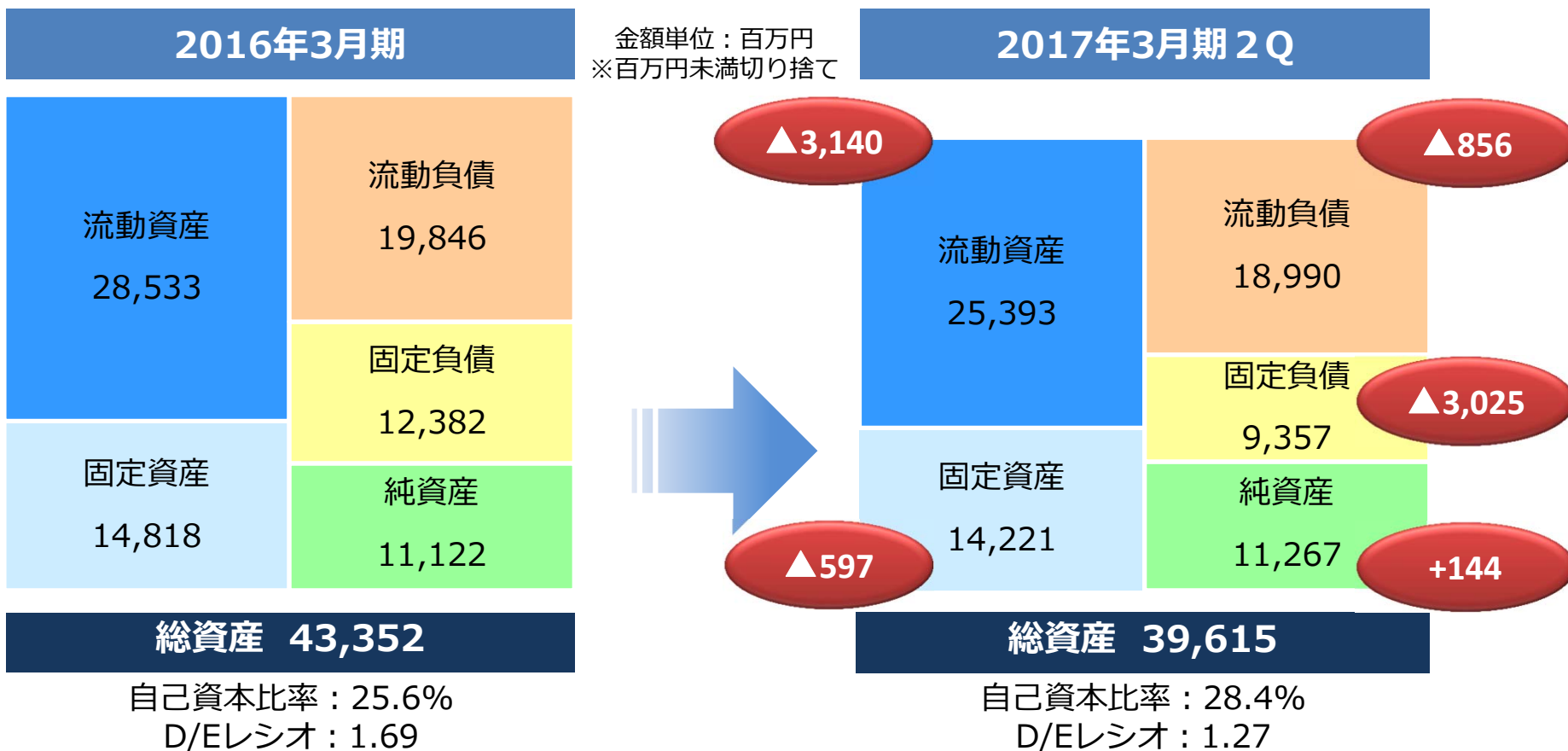
- ◆需要低迷により各分野とも全般に減収基調だが 前期に買収した子会社2社が 上期を通して連結業績に寄与し 増収増益を確保
- ◆既存事業は 品質向上・高付加価値化・原価改善等の活動継続
- ◆子会社と営業面での連携を強化し シナジーの早期具体化へ
  - ・ ジャンテック顧客へ 昭和K D E の技術・製造ノウハウを絡め提案営業展開
  - ・ ツカガスパンクリート本社工場を 昭和K D E 事業の製造拠点として活用
- ◆モルタル・混和材事業は 一部生産委託品の内製化を 漸次実施  
品質管理体制を強化し 製品差別化を進める
- ◆原料仕入販売：衛陶原料・溶接材料等は底堅く推移
- ◆熱電材料の採用拡大を目指し 開発・生産効率改善を加速

# 前期2Q比当期利益増減要因

当期純利益  
(百万円)



# 連結貸借対照表



主な増減要因)

- 流動資産：借入金返済による現預金減少
- 固定資産：資産売却・償却及び投資有価証券処分による減少
- 流動負債：買掛債務等の増加及び借入金返済による減少
- 固定負債：借入金返済による減少

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2016年3月期 2Q	2017年3月期 2Q	増減額
営業C F	546	2,186	1,640
投資C F	△1,100	△368	731
財務C F	658	△4,568	△5,227
現金及び 現金同等物の残高	9,459	4,981	△4,478

対前期増減の主な要因)

- 営業C F：前期M&A実施に伴う債権債務・たな卸在庫等の増加 他
- 投資C F：前期子会社株式取得に対する支出 他
- 財務C F：借入金返済に対する支出 他



# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 2Q	予想 2017年3月期
設備投資	2,184	1,106	2,300
減価償却費	1,687	834	1,900
研究開発費	308	118	400

主な設備投資の内容)

- 2016年3月期：国内自動化設備、新会社事業へのインフラ投資 他
- 2017年3月期(予定)：国内自動化・合理化設備導入継続 他

# 2017年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	対前年比 増減額
<b>【売上高】</b>	<b>51,144</b>	<b>53,000</b>	<b>1,856</b>
電子事業	40,500	41,700	1,200
工業材料事業	10,644	11,300	656
その他	-	-	-
<b>【営業利益】</b>	<b>1,797</b>	<b>2,000</b>	<b>203</b>
電子事業	1,043	1,200	157
工業材料事業	788	800	12
その他	△35	-	35
<b>【経常利益】</b>	<b>1,332</b>	<b>1,600</b>	<b>268</b>
<b>【親会社株主に帰属 する当期純利益】</b>	<b>259</b>	<b>1,100</b>	<b>841</b>

現況からの見通し)

- 売上高・営業利益は為替不利等で通期予想の折り返しには欠けるも堅調ペース
- 経常利益・当期利益は為替評価による影響を大きく受ける可能性あり

- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。
- ご利用に関しては、ご自身の判断にてお願い致します。  
本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。



本資料に関するご照会先  
株式会社 キョウデン 経営企画部  
TEL : 045-929-0501